

令和2年2月26日

平成30年度における職場体験・インターンシップ実施状況等について

国立教育政策研究所では、全国の国・公・私立中学校及び高等学校の職場体験・インターンシップの実施状況を取りまとめましたので、お知らせします。

1 実施状況取りまとめの概要

職場体験・インターンシップの全国的な実施状況の推移を把握するため、学年別、期間別、学科別実施状況や教育課程への位置付けの状況等について、毎年実態を調べています。

職場体験・インターンシップは、生徒の学ぶこと、働くことの意義の理解や望ましい勤労観・職業観の育成等において重要な役割を果たしています。

2 主な内容(詳細は別紙参照)

[1] 中学校

- ・公立中学校における職場体験の実施状況は、昨年度の実施率より0.9ポイント下回り、97.7%となった。
- ・公立中学校において職場体験を実施している主たる学年の事前指導にかかる時間は、「6～10時間」、事後指導にかかる時間は、「1～5時間」の割合が最も高かった。
- ・国・私立中学校における実施率は、国立では、昨年度より0.8%下回り60.5%となり、私立では、昨年度より1.6ポイント上回り34.5%となった。

[2] 高等学校

- ・公立高等学校(全日制・定時制)におけるインターンシップの学校単位の実施率は、昨年度より0.1ポイント上回り84.9%となった。(教育課程の編成上実施校の全生徒が参加しているとは限らない。)
- ・公立高等学校(全日制・定時制)における「在学中に1回でも体験した生徒の割合」は、昨年度より0.1ポイント下回り、全体で34.8%であった。普通科においては、昨年度より0.2ポイント上回り22.5%、職業に関する学科においては、昨年度より0.8ポイント下回り68.4%となった。
- ・国・公・私立高等学校(全日制・定時制・通信制)における実施率は、国立では15.0%、公立では83.9%、私立では47.2%となった。

(お問合せ先)

国立教育政策研究所

生徒指導・進路指導研究センター総括研究官	長田 徹	電話：03-6733-6883
生徒指導・進路指導研究センター主任研究官	立石 慎治	電話：03-6733-6971
生徒指導・進路指導研究センター企画課長	新井 敬二	電話：03-6733-6879

平成30年度職場体験・インターンシップ実施状況等結果(概要)

- 1 本調査は、全国の国・公・私立の中学校及び高等学校(全日制・定時制・通信制)を対象に、平成30年度の中学校職場体験・高等学校インターンシップの全国的な実施状況を令和2年1月現在で取りまとめたものである。
- 2 中学校職場体験
 - (1) 公立中学校における職場体験の実施状況は、9,434校中9,219校と、昨年度より0.9ポイント下回り、97.7%となった。
 - (2) 公立中学校において職場体験を実施している主たる学年の実施期間については、「5日」の実施校の割合が、全体の11.6%と、昨年度から0.4ポイント下回った。
 - (3) 公立中学校における教育課程等への位置付けの状況等については、主たる学年で、「総合的な学習の時間で実施」が78.3%、「総合的な学習の時間で実施し、特別活動の学校行事としても読み換えている」が8.3%、「特別活動での実施」が7.4%である。また、参加形態は、ほとんどが「原則として全員参加」である。
 - (4) 公立中学校における事前指導にかける時間については、主たる学年で、「6～10時間」が47.6%と最も割合が高かった。また、事後指導にかける時間については、「1～5時間」が56.9%と最も割合が高かった。
 - (5) 国・私立中学校における実施率は、国立では、昨年度より0.8%下回り60.5%となった。私立では、昨年度より1.6ポイント上回り34.5%となった。
 - (6) 公立中学校における都道府県・政令指定都市別実施率が100%であるのは、秋田県、茨城県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、愛知県、滋賀県、兵庫県、奈良県、愛媛県、仙台市、千葉市、川崎市、相模原市、静岡市、神戸市、岡山市、熊本市の11県8政令指定都市となった。(5日以上職場体験が域内全校で行われている自治体は、兵庫県、神戸市の1県1政令指定都市)
- 3 高等学校インターンシップ
 - (1) 公立高等学校(全日制・定時制)における実施率は、昨年度より0.1ポイント上回り84.9%となった。職業に関する学科(全日制・定時制)全体の実施率は、87.6%となっている。
 - (2) 公立高等学校(全日制・定時制)における教育課程等への位置付けの状況等については、学科別でカウントし、「現場実習等教科・科目の中で実施」が12.6%、「『学校外における学修』として実施」が11.3%、「総合的な学習の時間で実施」が9.4%であるなど多様である。なお、49.9%は「教育課程には位置付けずに実施」である。
 - (3) 公立高等学校(全日制・定時制・通信制)における事前指導にかける時間については、「1～5時間」が66.7%と割合が最も高い。また、事後指導にかける時間についても、「1～5時間」が67.8%と割合が最も高い。
 - (4) 公立高等学校(全日制・定時制・通信制)において、実施している事前指導の内容について最も重視しているものは、「インターンシップの目的を設定・確認させる指導」であった。また、実施している事後指導の内容について最も重視しているものは、「報告書やレポートの作成などインターンシップを評価させる指導」であった。

- (5) 公立高等学校(全日制・定時制)における学科別集計において、「在学中に1回でも体験した生徒の割合」は、昨年度より0.1ポイント下回り、全体で34.8%となった。普通科においては、昨年度より0.2ポイント上回り22.5%、職業に関する学科においては、昨年度よりも0.8ポイント下回り68.4%となった。
- (6) 公立高等学校(全日制・定時制)における学年別の体験生徒数は、2年生の割合が高くなっている。また、体験日数については、「2～3日」が49.7%と最も割合が高くなっている。
- (7) 公立高等学校(全日制)学科別集計における実施率は、全体で87.5%であった。普通科においては、86.1%で、職業に関する学科では94.9%であった。
- (8) 国・公・私立高等学校(全日制・定時制・通信制)における実施率は、国立では15.0%、公立では83.9%、私立では47.2%である。
- (9) 公立高等学校(全日制・定時制)における都道府県・政令指定都市別実施率が100%であるのは、福井県、徳島県、千葉市、浜松市、堺市、神戸市、岡山市、北九州市、福岡市、熊本市、の2県8政令指定都市である。